

NSG
GROUP

第147期定時株主総会

日本板硝子株式会社

お願い事項



携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてくださいご使用はお控え下さいますようお願い申し上げます。その他、カメラやビデオ、各種機器などによる撮影、録画、録音等につきましても、同様にお控え下さいますようお願い申し上げます。

第147期定時株主総会

日本板硝子株式会社

監査報告

報告事項

1. 事業報告
2. 連結計算書類
3. 計算書類

事業の経過およびその成果 (事業報告)

招集ご通知 3ページから7ページ

当期の概観

当社グループの主要市場は厳しい状況が続く

- 建築用ガラス：欧州で数量低調、他の地域で回復の兆し
- ソーラー用ガラス：下半期後半で安定も引き続き低水準
- 自動車用ガラス：前期を下回るも北米市場は改善
- 高機能ガラス：前期とほぼ同様の水準、比較的堅調

当期の業績

当期の業績(連結-IFRS)

(億円)

	第147期 (2013年3月期)	第146期 (2012年3月期)
売上高	5,213	5,522
個別開示項目前営業利益	19	77
営業損益	(173)	44
税引前当期損失	(291)	(48)
当期損失	(319)	(17)
親会社の所有者に帰属する当期損失	(328)	(28)

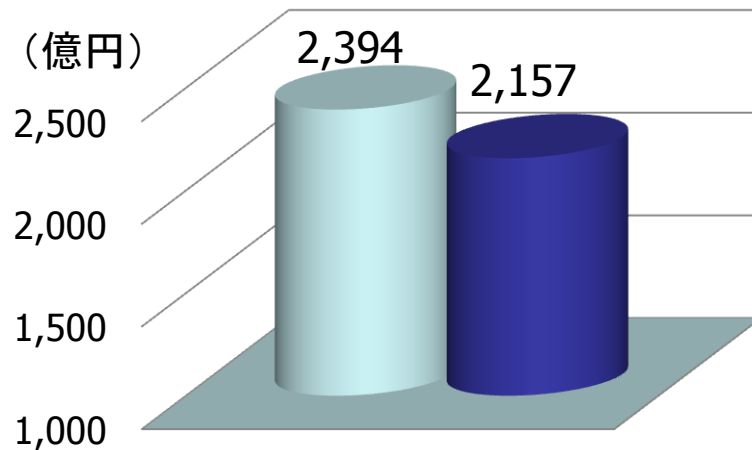
事業別の状況

建築用ガラス

売上高: 2,157億39 百万円

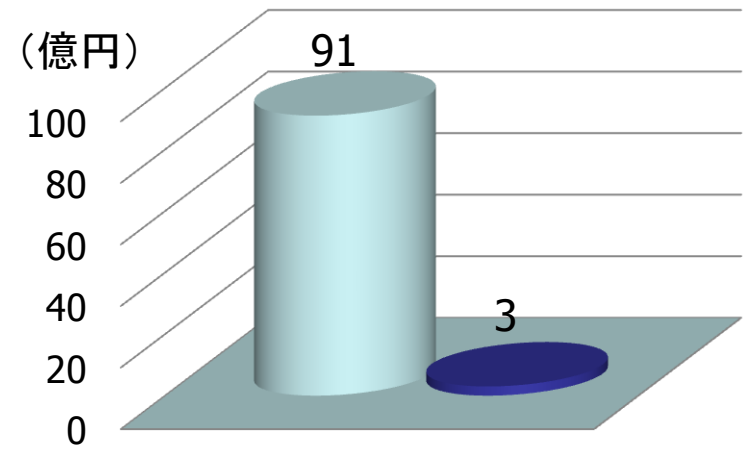
(個別開示項目前)

営業利益: 3億3百万円



売上高

■ 2012.3 ■ 2013.3



営業利益

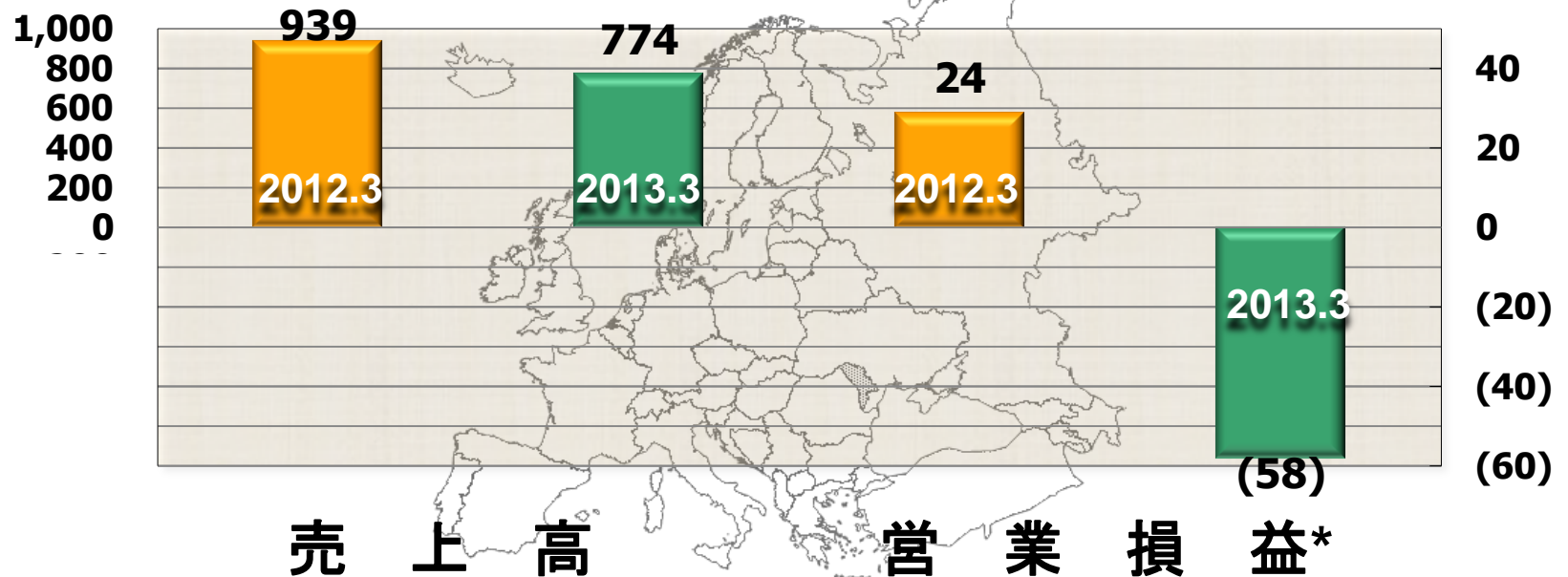
■ 2012.3 ■ 2013.3

建築用ガラス

欧州

(百万ユーロ)

(百万ユーロ)

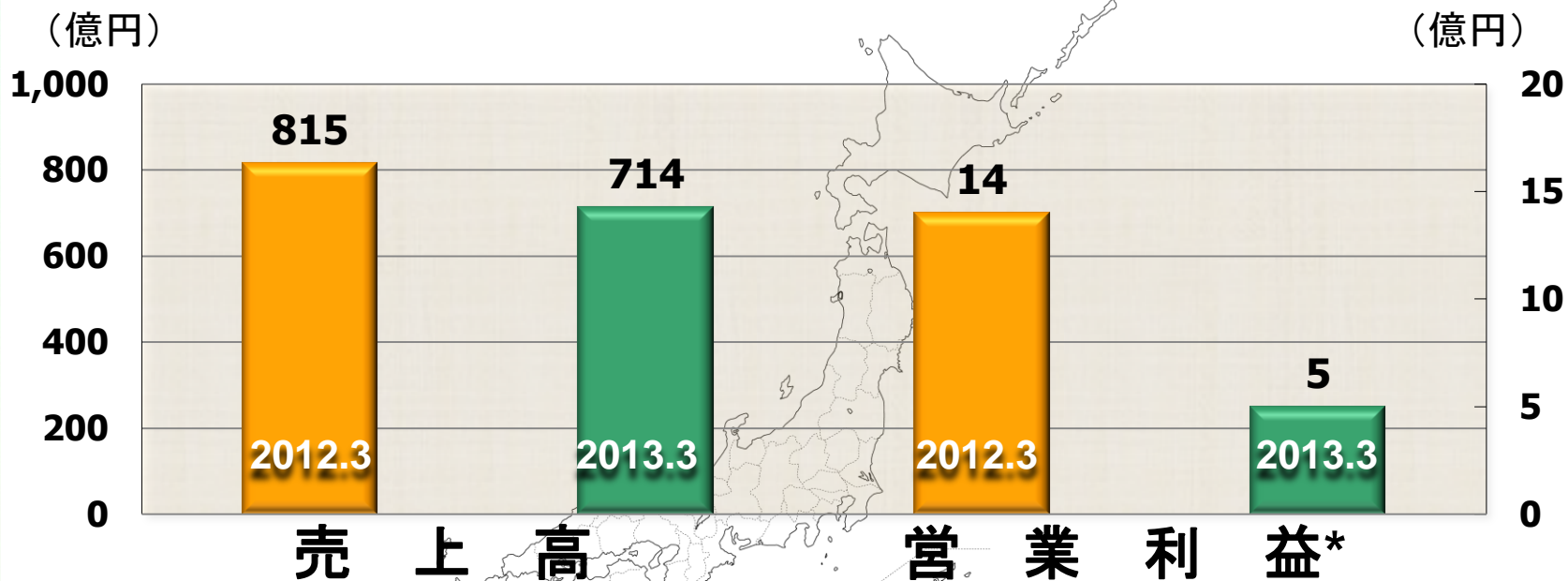


- 厳しい市場環境
- 収益性改善施策の効果により損失幅は縮小

*個別開示項目前営業利益

建築用ガラス

日本

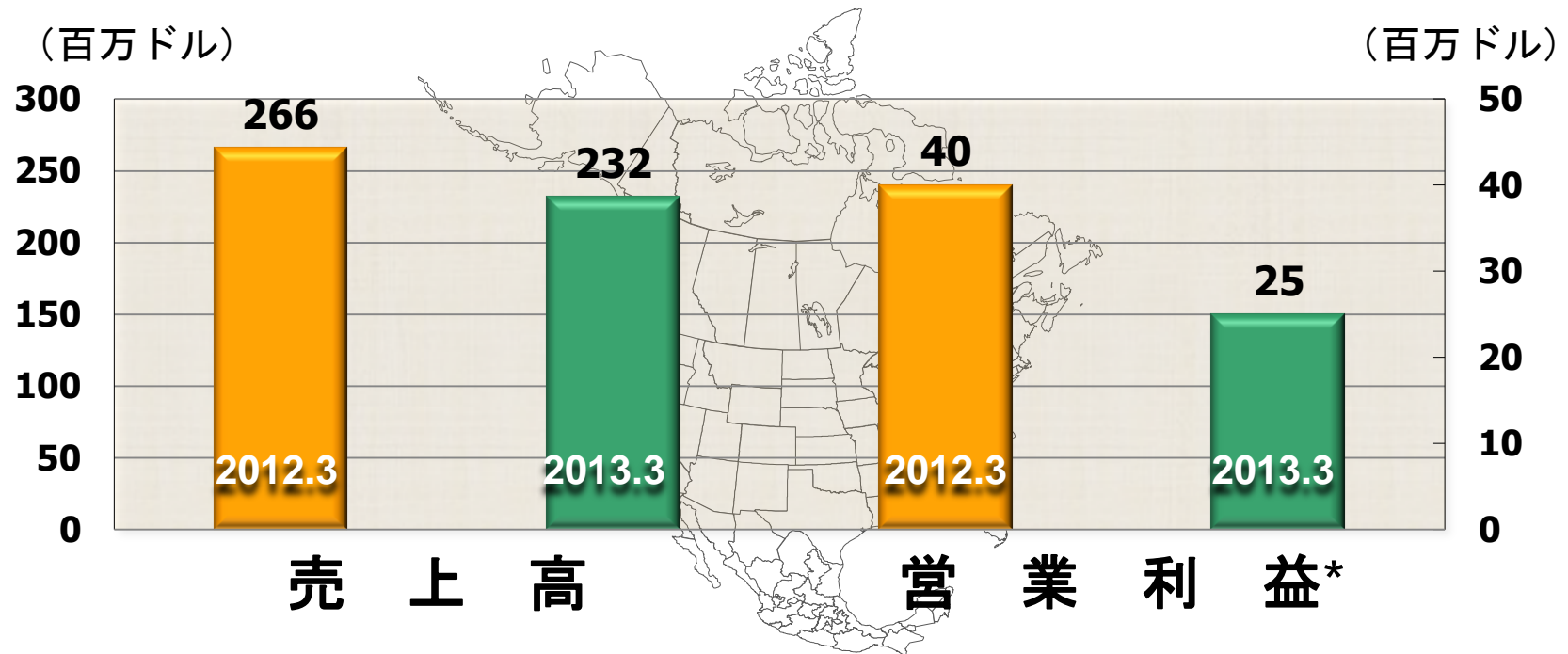


- ・ 国内市場は改善
- ・ しかし、ソーラー用ガラスの出荷減少を補えず

*個別開示項目前営業利益

建築用ガラス

北米



- 域内建設市場は改善
- しかし、それ以上にソーラー用ガラスの出荷減少が響く

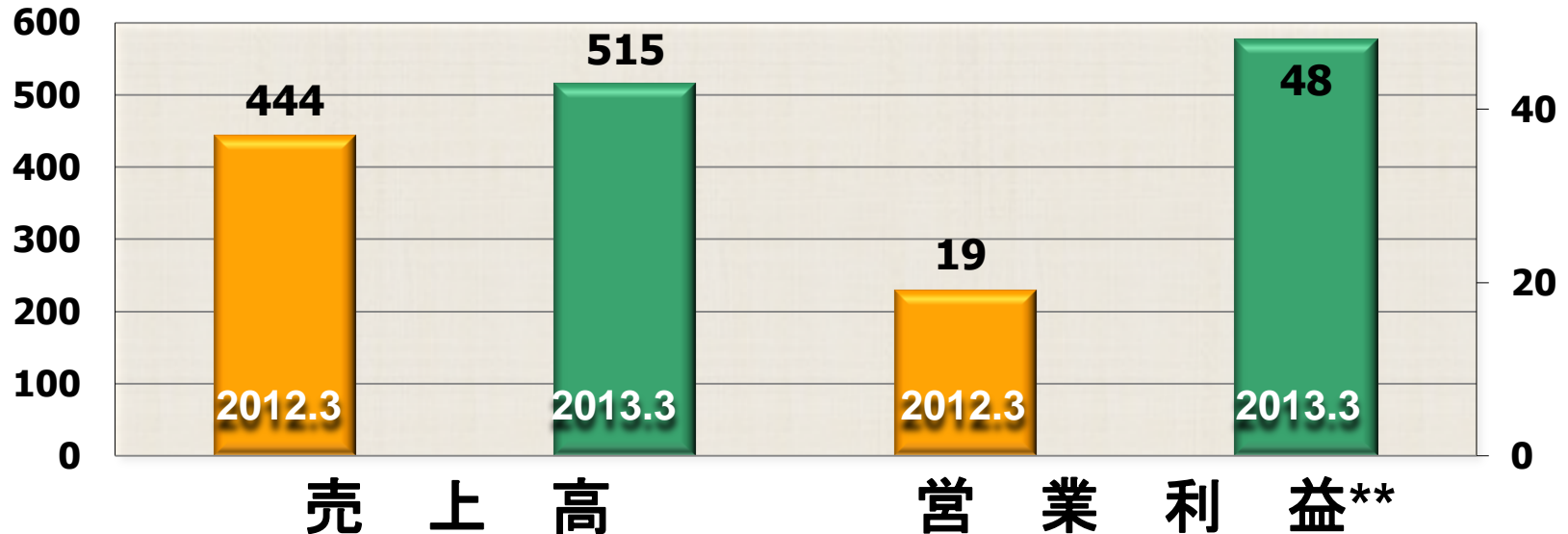
*個別開示項目前営業利益

建築用ガラス

その他の地域*

(百万ドル)

(百万ドル)



- ベトナムのソーラー向けフロートラインの生産が当期を通じて完全計上
- 南米市場における数量は前期並み
- 東南アジア市場は下半期後半に改善

* その他の地域は、アルゼンチン、チリ、中国、マレーシアおよびベトナム

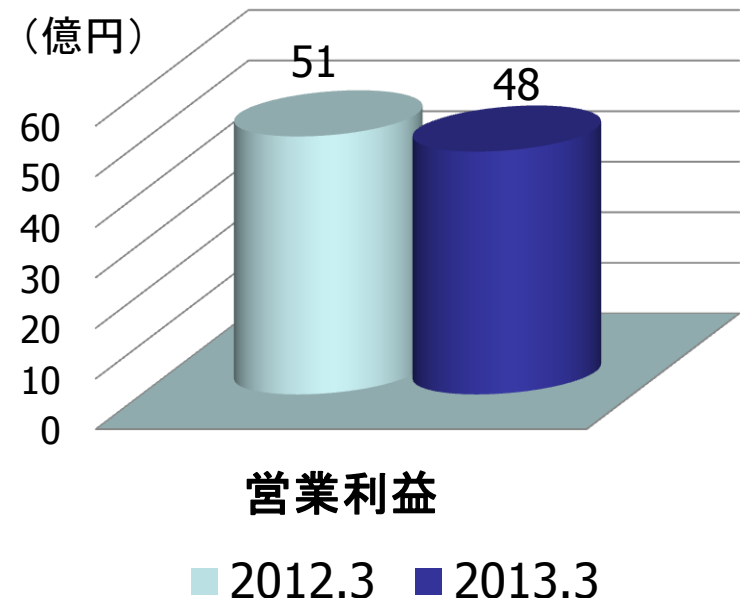
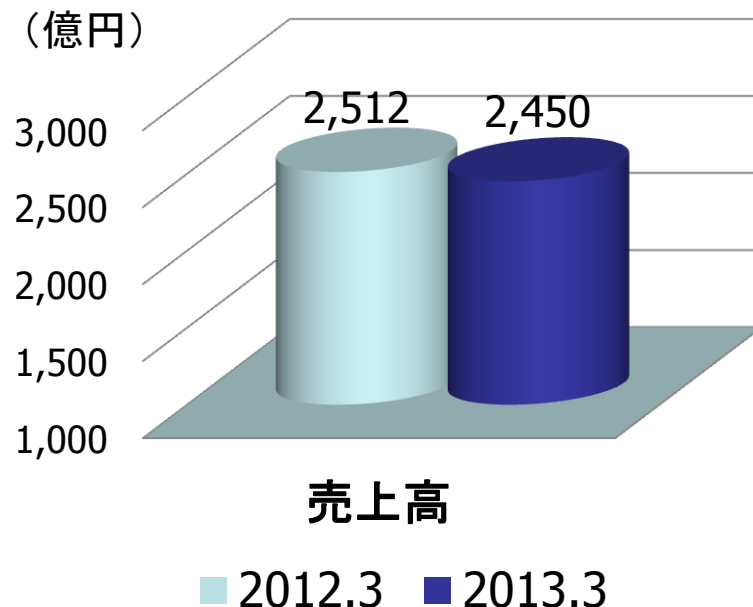
**個別開示項目前営業利益

自動車用ガラス

売上高： 2,450億22百万円

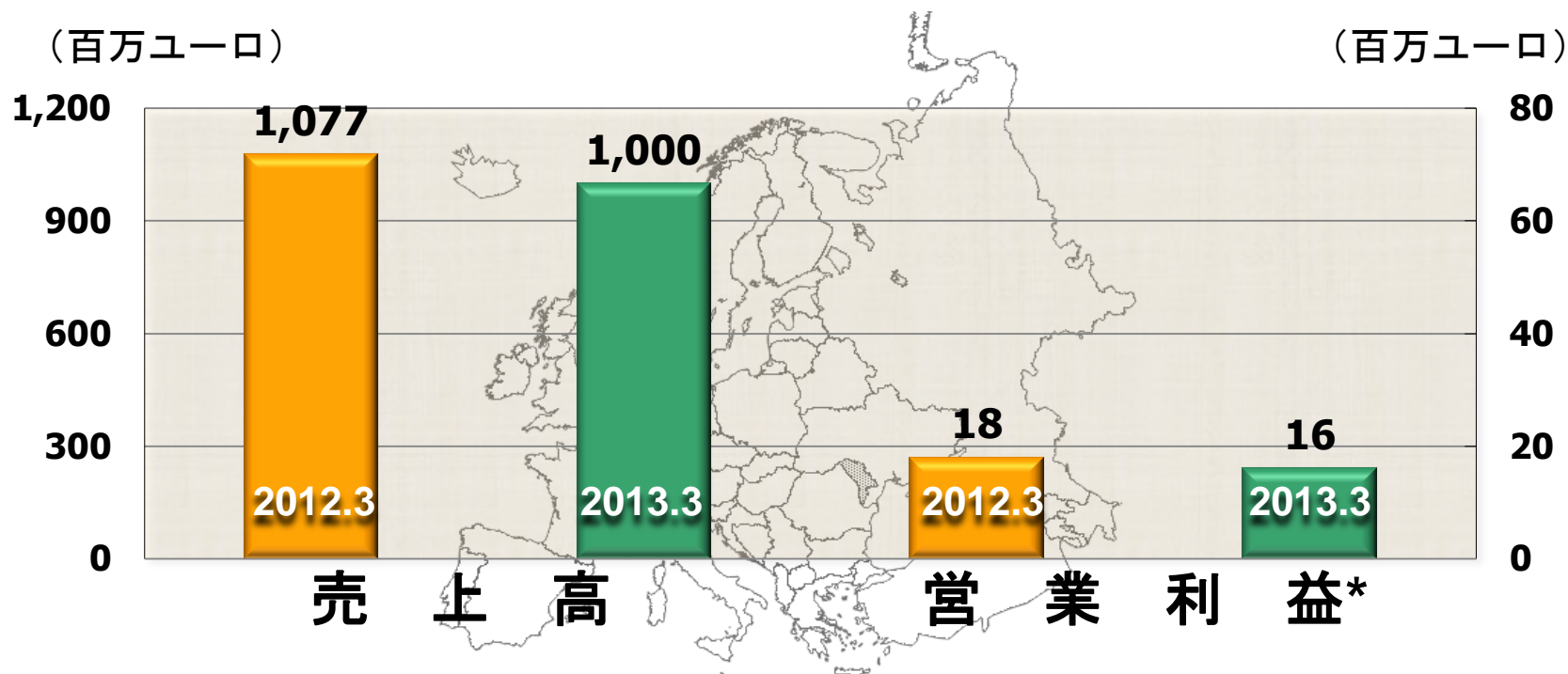
(個別開示項目前)

営業利益： 47億55百万円



自動車用ガラス

欧州

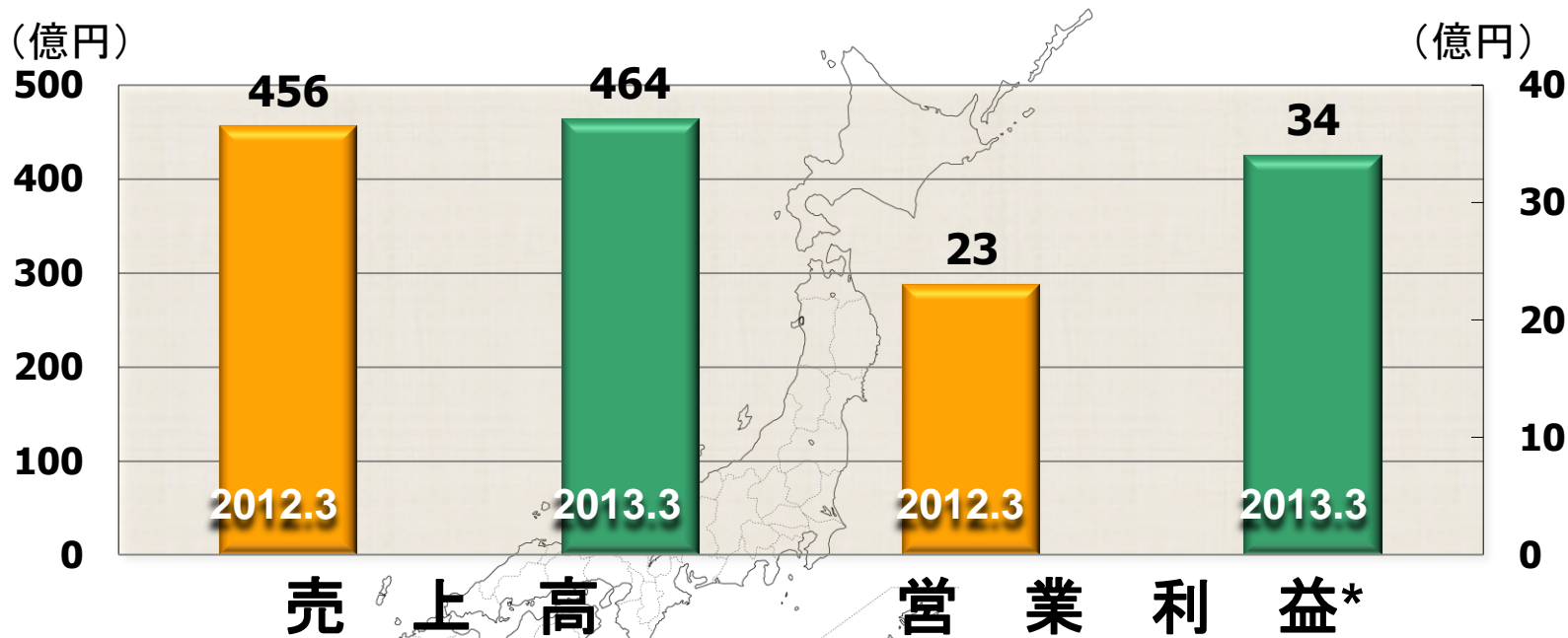


- ・ 需要低迷により新車向け部門は減収減益
- ・ 補修用部門の業績は前期並み
- ・ 生産能力削減およびコスト改善は進行中

*個別開示項目前営業利益

自動車用ガラス

日本

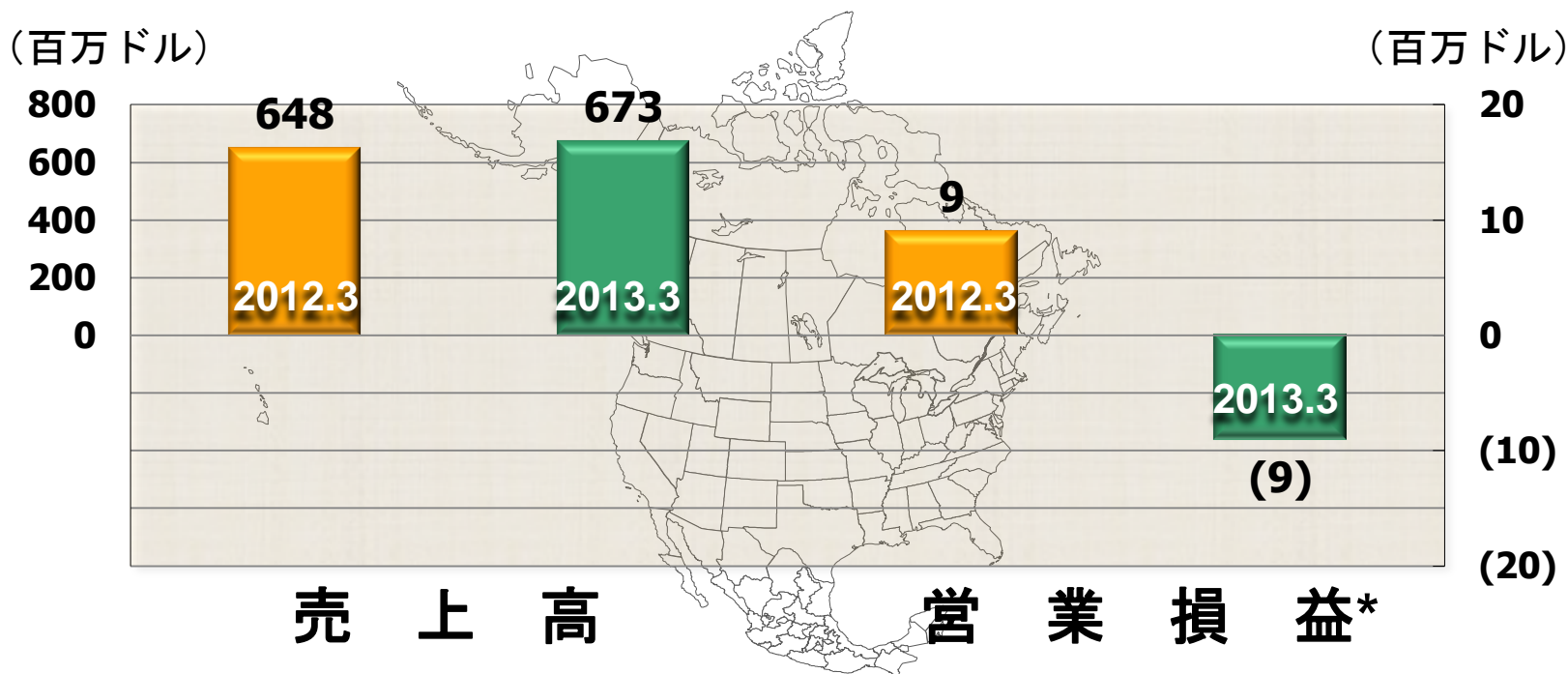


- 前期初頭には震災の影響
- 市場全体における数量は確実に改善

*個別開示項目前営業利益

自動車用ガラス

北米



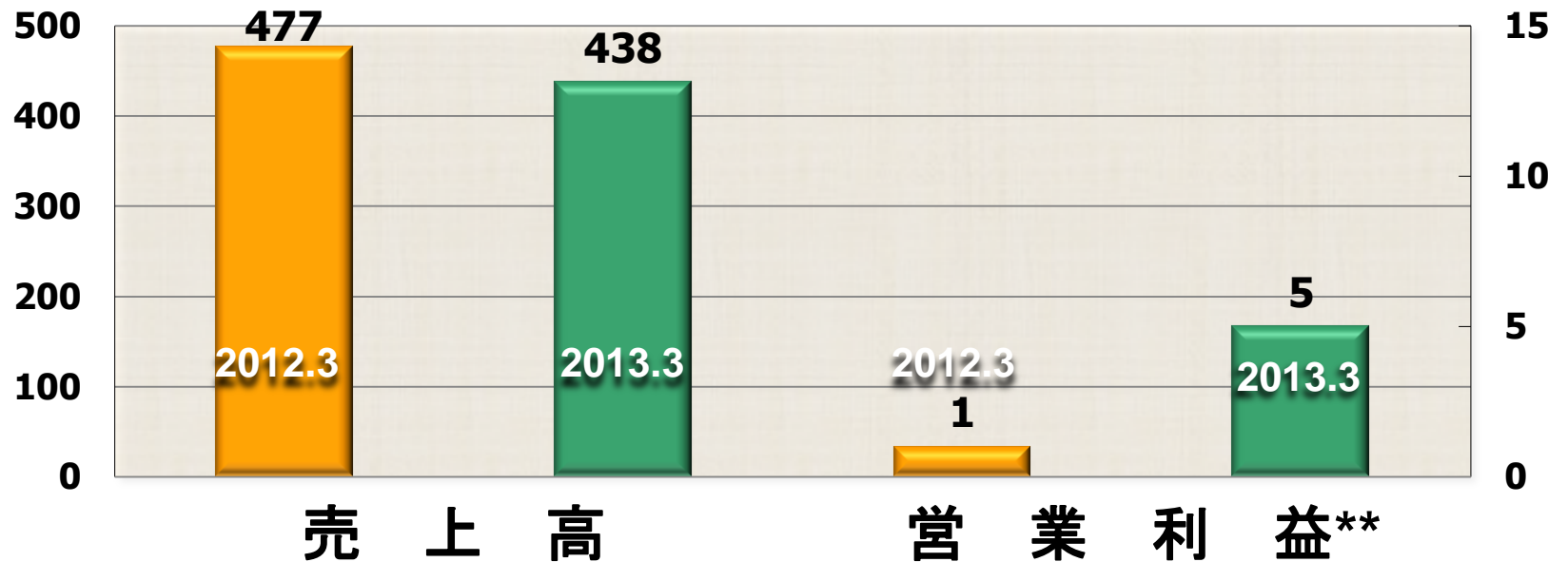
- ・新車向け部門は数量増加に伴い増収も、利益水準は依然低調
- ・補修用部門は需要低下により減収減益

*個別開示項目前営業利益

自動車用ガラス

その他の地域*

(百万ドル)



・利益水準はわずかに改善も依然として低水準

*その他の地域は、ブラジル、アルゼンチン、マレーシアおよび中国

**個別開示項目前営業利益

高機能ガラス

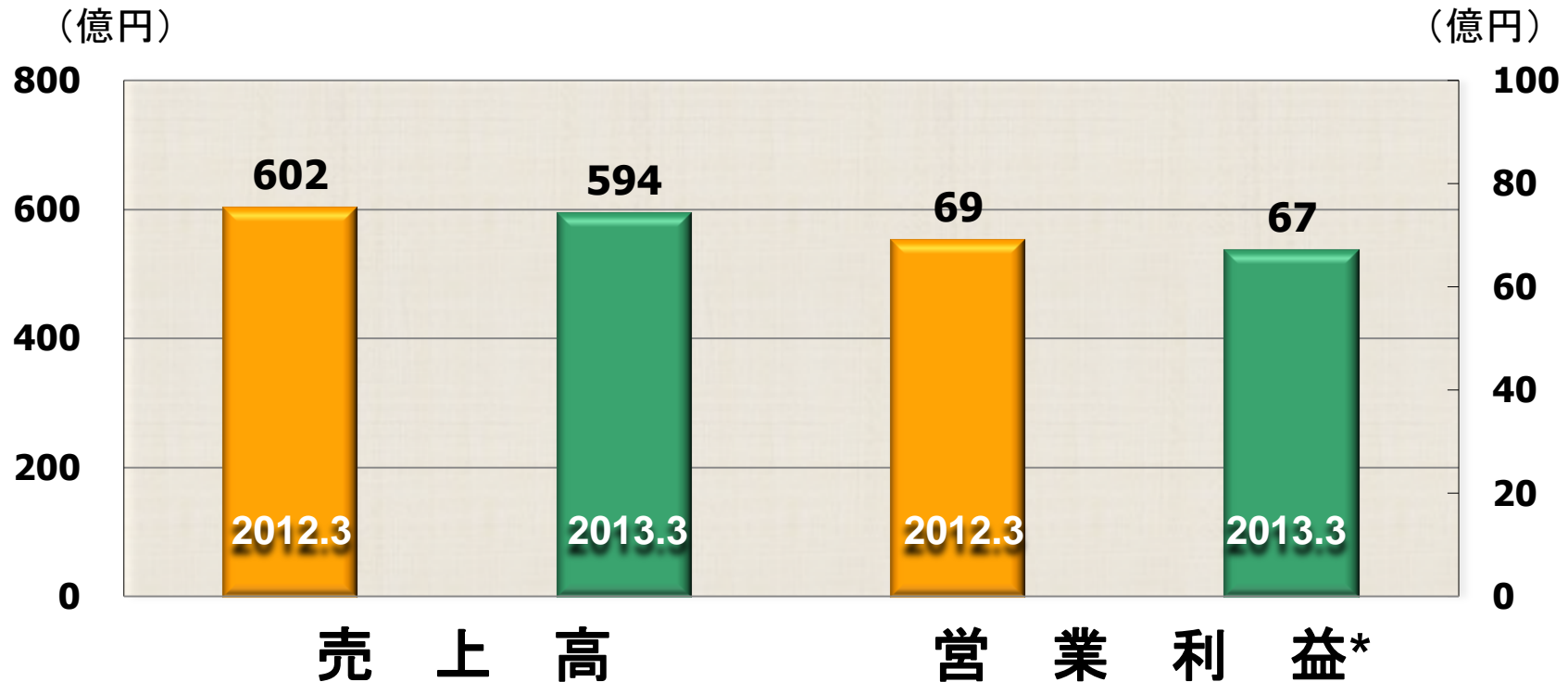
売上高： 594億4百万円

(個別開示項目前)

営業利益： 67億19 百万円



高機能ガラス



- ・スマートフォンやタブレットPCの消費者需要は旺盛
- ・オフィス用プリンター市場は需要が低調に推移
- ・エンジンタイミングベルト用ガラスコードの需要は、欧州の自動車業界の状況に沿って軟化

*個別開示項目前営業利益

その他

売上高： 11億81百万円

(個別開示項目前)

営業損失： 98億31百万円

- ・ 全社費用、連結調整、小規模な事業およびピルキントン社買収に伴い認識された無形資産の償却費

第147期連結計算書類(IFRS)

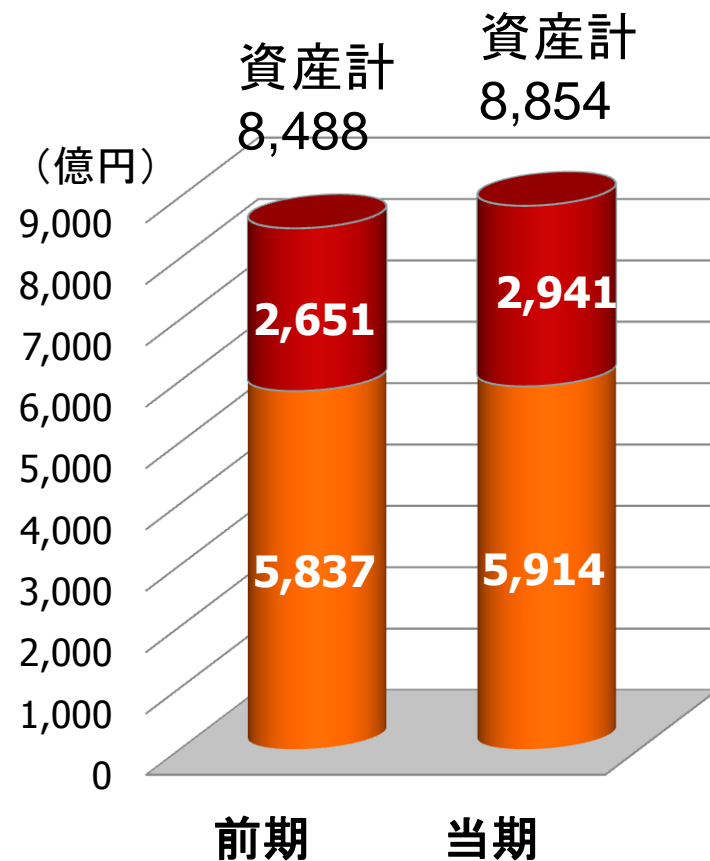
連結貸借対照表

2013年3月31日現在

招集ご通知 34ページ

連結貸借対照表 IFRS

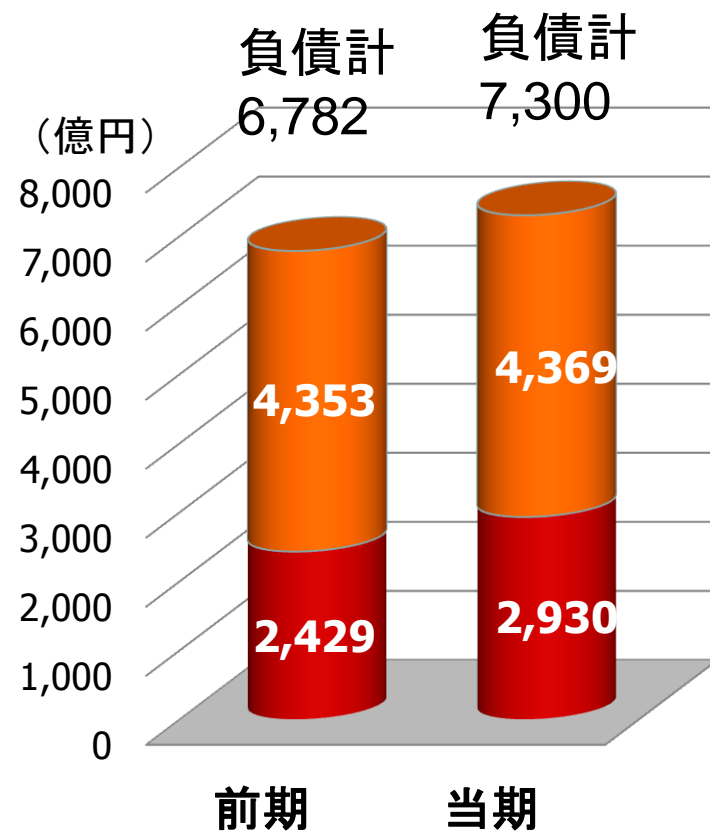
(億円)



■ 非流動資産 ■ 流動資産

連結貸借対照表 IFRS

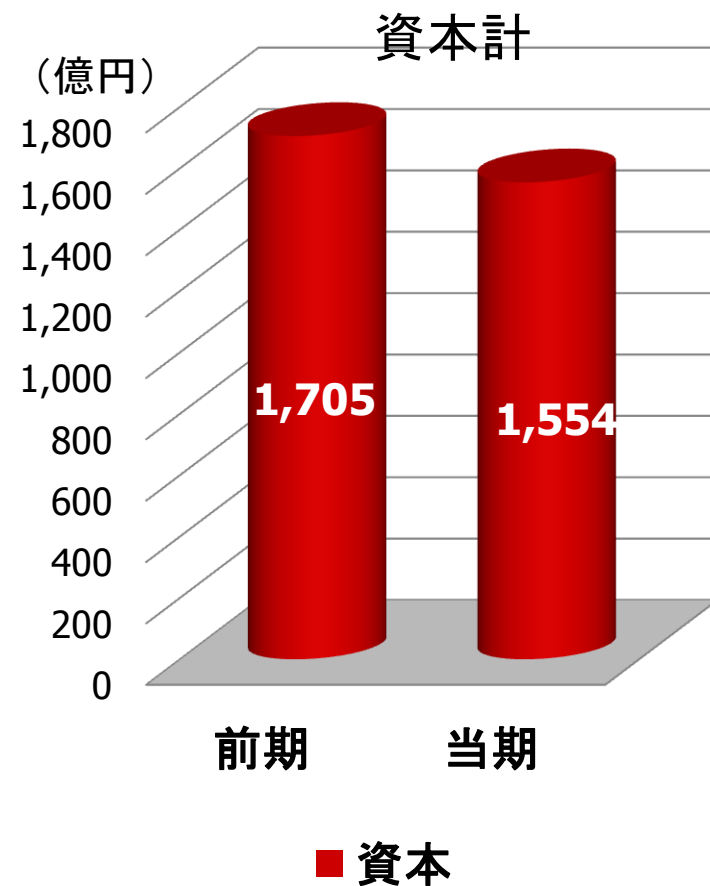
(億円)



■ 流動負債 ■ 非流動負債

連結貸借対照表 IFRS

(億円)



連結損益計算書

2012年4月1日～2013年3月31日

招集ご通知 35ページ

連結損益計算書 IFRS

(億円)

連結損益計算書要約	
売上高	5,213
個別開示項目前営業利益	19
営業損失	(173)
税引前当期損失	(291)
当期損失	(319)
親会社の所有者に帰属する当期損失	(328)

- **連結持分変動計算書
招集ご通知 37ページ**
- **単独計算書類
招集ご通知 39ページから 41ページ**
- **連結注記表および個別注記表
インターネット上の当社ホームページに掲載
www.nsg.co.jp**

対処すべき課題 (事業報告)

招集ご通知 8ページから11ページ

対処すべき課題

- 主要市場が低迷し、厳しい状況は続くことが予想される
- いくつかの分野で改善の兆し

対処すべき課題 財務状況

(億円)

ネット借入残高*	FY13末	FY12末	主要変動要因
	3,609	3,512	為替変動

*ネット借入= 有利子負債－現金及び現金同等物

(億円)

	FY13	ポイント
営業キャッシュフロー	142	運転資本217億円減少
投資キャッシュフロー	(70)	有形固定資産購入支出256億円
フリーキャッシュフロー	72	

対処すべき課題 財務状況

資金調達の進捗 2013年3月28日発表

- 総額700億円のシンジケートローン
- 複数金融機関との個別借入90億円
- その他300億円のローン
- 新規コミットメントライン250億円

対処すべき課題 収益性改善

(億円)

	FY12	FY13	FY14	FY15	累計
効果(FY12対比):					
従来 計画*	-	50	150	250	450
今回 計画	-	100	200	300	600
リストラクチャリング費用:					
従来 計画*	(30)	(110)	(110)	-	(250)
今回 計画	(30)	(180)	(90)	-	(300)
有形資産減損:					
従来 計画*	-	(70)	(20)	-	(90)
今回 計画	-	(90)	-	-	(90)

*2012年8月2日発表

収益性改善施策の効果をさらに受けることに

対処すべき課題 取り組み



戦略投資

- ブラジル5つ目のフロートライン
2012年4月スタート
- ポーランド自動車用ガラス設備
投資最終段階 2012年9月生
産開始
- ディスプレイ事業向け超薄板ガ
ラス生産能力拡充計画



収益性改善

- 需要に見合った生産体制
- 間接費削減
- 生産体制改善施策の加速



新しい高付加価値製品

- 抗菌・抗ウイルス性光触媒ガラ
ス「ウイルスクリーン®」など

並行実施

対処すべき課題

革新的なガラス技術を通じて、
省エネ・創エネに貢献し、
安心・安全な社会作りに役立つ
高性能ガラス分野で
グローバルリーダーとなることを目指します。

招集ご通知 7 ページから 8 ページ

- 設備投資の状況、資金調達等の状況、他の会社の株式の処分

招集ご通知 12ページから 33ページ

- その他の当社グループの現況に関する事項
- 会社の株式に関する事項
- 剰余金の配当等の決定に関する方針
- 会社の新株予約権等に関する事項
- 会社役員に関する事項
- 会計監査人の状況
- コーポレートガバナンスの状況

第147期定時株主総会

日本板硝子株式会社

剰余金の配当等

業績悪化に伴い、

2013年3月期： 無配

少しでも早く復配できるよう収益改善に全力

第147期定時株主総会

日本板硝子株式会社

決議事項

議案 取締役8名選任の件

招集ご通知 45ページから 55ページ

議案 取締役8名選任の件

朝香 聖一
(社外取締役候補者)

吉川 恵治

クレメンス・ミラー
(Clemens Miller)

マーク・ライオンズ
(Mark Lyons)

諸岡 賢一

ジョージ・オルコット
(George Olcott)
(社外取締役候補者)

藤田 純孝
(社外取締役候補者)

小宮 弘
(社外取締役候補者)

第147期定時株主総会

日本板硝子株式会社

NSG
GROUP